

授業科目・題目	研究と倫理		
科目区分	大学院共通科目		
主担当教員	鹿住大助	開講期別	前期
曜日	※夏季休業期間中の集中講義	時限	
単位数	1	週時数	2
履修資格	修士 1, 2 年		
備考			

授業形態	講義・演習		
授業の目的	国内外の諸学問分野において、研究活動におけるデータ捏造や剽窃、研究倫理違反等の不正行為が毎年のように起こっているという現実があります。この授業では、今後、大学院生として研究活動をおこなうに際して、科学史的視野とともに研究倫理を身に付けることを目的としています。近代的学問分野の成立とその問題を整理しながら、知的財産権や被験者保護、利益相反、研究ノートとデータ管理等、研究活動に関連して予め知っておくべき事項について、講義や演習によって学習します。		
科目の達成目標 (達成度)	(1) 研究活動を遂行するために遵守しなければならない法律や、配慮すべき道義的・社会的責任について説明することができる。(知識・理解) (2) 諸学問分野における研究倫理上の課題を整理し、自らの学問分野と結び付けて考察することができる。(知識・理解) (3) 今後、研究者として自律的に研究活動を遂行することができる。(態度)		
授業の内容	各回の授業内容		担当教員
	1.	研究活動のはじめに①：科学・技術の展開と社会	溝口元(嘱託講師)
	2.	研究活動のはじめに②：研究不正の実際とその防止	溝口元(嘱託講師)
	3.	研究活動のはじめに③：著作権・知的財産権の保護	溝口元(嘱託講師)
	4.	研究倫理①：技術と倫理	溝口元(嘱託講師)
	5.	研究倫理②：生命と倫理	原田守(医学系研究科)
	6.	研究倫理③：人間・社会と倫理	江渕武彦(人文社会科学研究科)
	7.	自らの研究・専門を考える①：ワークショップ	鹿住大助(教育推進センター)
	8.	自らの研究・専門を考える②：研究計画の作成と発表	鹿住大助(教育推進センター)

授業の進め方	各研究科の専門分野の教員による講義と演習（ワークショップ・発表）を交えながら授業を進めていきます。		
授業キーワード	研究倫理、研究不正、科学史、著作権、知的財産権、社会的責任		
テキスト	指定しません		
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会編「科学の健全な発展のために：誠実な科学者の心得」2015年、 <a href="https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf">https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf</a></li> <li>・米国科学アカデミー編、池内了訳『科学者をめざす君たちへ：科学者の責任ある行動とは』化学同人、1995年。</li> <li>・山崎茂明『科学者の不正行為：捏造・偽造・盗用』丸善、2002年。</li> <li>・科学倫理検討委員会編『科学を志す人びとへ：不正を起こさないために』化学同人、2007年。</li> </ul> <p>【参考ウェブサイト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省／研究活動における不正行為への対応等： <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/index.htm</a></li> <li>・厚生労働省／研究に関する指針について： <a href="http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/">http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/</a></li> <li>・日本学術会議／科学者の行動規範： <a href="http://www.scj.go.jp/ja/scj/kihan/index.html">http://www.scj.go.jp/ja/scj/kihan/index.html</a></li> </ul>		
その他授業資料等	授業時間中に適宜配布します		
成績評価の方法	評価方法	配点の割合	科目の達成目標との対応
	研究計画発表	50	(1)(2)(3)
	最終レポート	50	(1)(2)(3)
履修上の指導			
オフィスアワー			
その他			